

第39期第8回 栃木県産業教育審議会

【建議の案についての主な意見】

第Ⅰ章 社会的・職業的自立に向けて

1 キャリア教育の充実

【主な意見】

- ・ 職業倫理の育成について、遵法精神を昨今ではコンプライアンスやCSRを使うことが多いので、表現を再検討するとよい。

2 コミュニケーションの能力の育成

【主な意見】

- ・ 人間関係形成能力の育成について、他者の多様な考えや立場を理解する力は新入社員からリーダーまで人間関係を築く上で重要である。

第Ⅱ章 協働社会の一員として

1 地域社会・地域産業の理解の促進

【主な意見】

- ・ 企業等と連携した教育活動の推進について、発展性のある活動へ繋げていくため各種団体等も加えるとよい。

2 積極的な社会参画

【主な意見】

- ・ 社会的な責任感の育成について、社会人ということばがあるが、専門学科においてという書き出しになっていることや、他の項目で職業人ということばを使っているため職業人に統一した方がよい。

第Ⅲ章 新たな価値の創造に向けて

3 専門学科の新たな役割と魅力

【主な意見】

- ・ 地域を担う人材育成とあるが、地域という言葉は意味が広いことや、専門学科の魅力と新たな役割とあるため、地域産業を担うとした方がよい。
- ・ TPPや福祉分野の人材育成など、社会全体の課題が示されているが、段落構成を再検討するとよい。